

季刊号



2020 (第33号)
2020.09.25 発行

特集
くらしと協同をたずねて
研究紹介
地域フードシステムを育む協同組合の可能性
食や農を「つなぐ」アプローチとしての
ツーリズム



2020 春号 (第32号)
2020.03.25 発行

特集
サステイナブル・コミュニティ=やさしく、
しなやかに続く地域をつくる
総論
脱プラスチック社会は可能か



2019 冬号 (第31号)
2019.12.25 発行

特集
多様な立場から考える食の科学技術
ーゲノム編集技術に着目してー
総論
科学技術とどのように向き合うか



2019 秋号 (第30号)
2019.09.25 発行

特集
新たな時代の、新たな流通 生協は
何に、どう対応すべきなのか？
総論
キャッシュレス社会考



2019 夏号 (第29号)
2019.06.25 発行

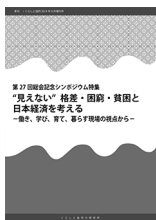
特集
「公」から住民主体による「民」への取り組み
総論
民営化とは？市場経済と公共性から考える



2019 春号 (第28号)
2019.03.25 発行

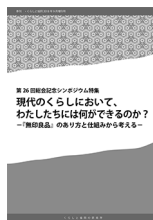
特集
創り、支え、広げる「わたしたち」のくらし
争論
現代社会、そして生協にとっての民主主義とは？

増刊号



2019 年 9 月増刊号
2019.09.25 発行

第 27 回総会記念シンポジウム特集
“見えない” 格差・困窮・貧困と
日本経済を考える
ー働き、学び、育て、暮らす
現場の視点からー



2018 年 9 月増刊号
2018.09.25 発行

第 26 回総会記念シンポジウム特集
現代のくらしにおいて、
わたしたちには何ができるのか？
ー『無印良品』のあり方と
仕組みから考えるー

編集後記

コロナ禍、とくに緊急事態宣言下において、空前と言ひ得るほどの注文の増加、加入申し込みの殺到に地域生協が追われている。あらためて生協の良さが見直されたのだとも評されているが、本当にそうだろうか。人々の多くが見直し、再評価したのは、生活協同組合という存在に対してではなく、店まで出向かなくても食料品が届く、宅配という生協の業態に対してではなかったのか。トータルで見れば注文と供給は激増しているが、コロナ禍で家計が激変し、生協からこぼれ落ちてしまった組合員、利用したくてもできなくなってしまった消費者はいないだろうか。あえて、そんな厳しい目で見つめ直してこそ、本当の意味で生協がコロナに克てるのではないかと感じている。(志)

季刊 **くらしと協同 (第34号)** 2020 年 12 月 25 日 発行

編集企画	『くらしと協同』編集委員会	電 話	075-256-3335
編集長	杉本貴志	F A X	075-211-5037
発行所	くらしと協同の研究所	E-mail	kki@ma1.seikyoku.ne.jp
理事長	若林靖永	U R L	http://kurashitokyo.do.jp
住 所	京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町 258 コープ御所南ビル 4F (〒604-0857)		